

# GrpMan の解説

## 各部分の説明



## ボタン類の説明

- [ ] フォルダ・リスト 1 個進める。
- [先頭] フォルダ・リストを先頭ににする
- [最後] フォルダ・リストを最後ににする
- [ ] フォルダ・リストを 1 個戻す
- [ ] リスト画像表示、前の画像
- [ ] リスト画像表示、次の画像
- [保存] 現在のフォルダ・リスト保存

- [変更] フォルダ・リストを変更する
- [U] 操作を戻す
- [繰り返し] 操作を繰り返す
- [ReName] ファイルメイ変更
- [ExList] Main フォルダ置き換え
- [ ] Main 画像(次の画像)
- [ ] Main 画像(前の画像)

## 各部分の操作説明

### (01) 画像拡大

(左クリック)Main 又はフォルダ・リストの画像を実サイズで表示します。  
(右クリック)Main 又はフォルダ・リストでスライドショーを実行します。  
尚、スライドショーは HFview.exe がインストールしてなければ動作しません。

### (02) フォルダ・リスト

フォルダ・リストの画像を表示、このフォルダへ画像を移動したり、他のフォルダへ画像を移動したり、コピー、削除などが出来ます。

[左ボタン]ドラッグ開始

[右ボタン]サブメニュー

[中ボタン]画像拡大表示

フォルダ内の画像ファイルを一括でリネームする事も出来ます。

同一階層のフォルダを全て表示します。但し 15 頁(各頁 22 フォルダ)、330 フォルダが最大です。

このフォルダ・リストは重要な操作ですので、詳細を別掲します。

### (03) 一時保管トレイ

フォルダ・リストの画像を一時保管します。フォルダ・リストの画像をドラッグドロップする事で保管されます、逆の操作で任意のフォルダへ戻す事が出来ます。

保管はフォルダ単位で行われますが、保管されるのは画像ファイルと、解説テキストだけで、子フォルダは移動しませんので子フォルダが有る時は注意して下さい。

保管出来るのは、16 個のフォルダが順番に保管され、最後に保管されたフォルダから順番に取り出されます、必要に応じて取り出す順番を変更する事も出来ます。順番の変更はトレイを右クリックで保存一覧が表示され、上から順番に取り出されます、任意の項目をクリックすると、その項目が先頭になります。

尚、先頭の次に取り出されるフォルダの画像は、マウスをトレイ上に持って行くと左側に画像が表示されます。

トレイの右下の数字は現在の保存数が表示されています。0~9 と A~F(10~15)で、G の時は 16 個で満杯なのでこれ以上保存出来ません。

この一時保存トレイに保存したまま GrpMan を終了しても次回起動時に表示され取り出すことが出来ますが、起動フォルダが同一の場合にしか読み出せません、起動後そのフォルダへ移動しても取り出せませんので、複数のフォルダで起動する場合は覚えて置いて下さい。

### (04) フォルダ名

フォルダ・リストのフォルダ名が表示されます。

[左クリックで]このフォルダが選択されます。(背景の色が変わります)

[右クリックで]このフォルダが選択されて、サブメニューが表示されます。

[W クリックで]このフォルダ名を変更出来ます。([Shift]+[クリック]でも同じ)

[中クリックで]画像を拡大表示します。

マウスをフォルダ名上に持って行くことで次の説明ラベルが表示されます。

説明ラベル にフォルダ名とフォルダ内の画像数が表示されます。

説明ラベル にフォルダ名とフォルダ内の子フォルダ数と子のフォルダ状況が色で表示されます。

### (05) リスト変更メニュー

ここからフォルダ・リストを変更する事が出来ます。表示されるメニュー項目は状況によって違います。各項目を説明します。

自動検索 現在の Main フォルダ内のサブフォルダを検索してフォルダ・リストを更新します。

SubList 選択中のフォルダ・リストに子フォルダが有る時に、選択中のフォルダ・リストを Main にして、子フォルダをフォルダ・リストに変更します。

DirList 選択中のフォルダ・リストに子フォルダが有る時に、Main のフォルダはそのまま、選択中のフォルダ・リストの子フォルダをフォルダ・リストに変更します。

親に戻る 現在のフォルダ・リストの親フォルダへ Main フォルダをへんこうして、その Main の子フ

フォルダをフォルダ・リストに変更します。

Mainに戻る 起動した時のフォルダ、又は明示的に Main フォルダ移動した時のフォルダへ Main フォルダ、フォルダ・リスト共に戻ります。

起動フォルダ 起動した時のフォルダへ戻ります。Main フォルダを明示的に変更して現在起動フォルダと違うフォルダで操作している時に最初のフォルダに戻ります。

ファイル名 フォルダ・リストを保存している時に、保存したフォルダ・リストを表示できます。保存しなければ当然表示されません。

自動作成 フォルダが自動で 22 個作成されます、フォルダが無い状態の時に使用して下さい。フォルダ・リストに新規にフォルダを作る事も出来ます。この操作は Main のフォルダの下に子フォルダが出来ますので、[ExList]ボタンで Main フォルダとフォルダ・リストを変更して、任意のフォルダ・リストを Main にしてから作成して下さい。

List 消去 現在表示されているフォルダ・リストを消します。

リスト変更メニューから Main フォルダやフォルダ・リストを変更した場合は「DirList」以外の場合は Main とフォルダ・リストと一緒に変更されます。個別に変更したい場合は、他の操作で処理して下さい。

#### (06) 説明ラベル

随時、その時々々の状況説明が表示されます。通常は画像数が表示されます。

サブウィンドウが表示されている時は、表示、非表示の変更が出来ます。

#### (07) Main 画像リスト

Main フォルダの画像リスト一覧が表示されています。任意のファイル名をクリックする事で Main の表示画像を変更できます。

背景の色が変化している時は、区分移動モードになっています。

#### (08) ごみ箱

ここに画像をドラッグドロップすることで画像を削除できます、空のフォルダをドラッグドロップするとフォルダが削除できます。

フォルダ・リストを選択して、ごみ箱をクリックすると選択中のフォルダを削除できます。この場合は空でなくても削除できます。

(注意)GrpMan の削除すると言うことは、フォルダ・リストから消すだけで、フォルダが無くなることは有りません、次回起動時には元に戻ります。画像も削除されるのではなく「削除(Grpman)」と云うフォルダに移動されて残ります。

ごみ箱もフォルダ・リストで表示する事が出来ます。

#### (09) 説明ラベル

随時、その時々々の状況説明が表示されます。通常は Main 画像のサイズが表示されます。

ここを(右)クリックする事で、Main を別のフォルダに変更する事が出来ます。

#### (10) 頁ボタン

~ 迄のフォルダ・リストのページボタンが表示されます。(1 頁は 22 フォルダ)

ボタンをクリックする事で該当ページへ移動出来ます。

ここにフォルダ・リストの画像をドラッグドロップすることで次の処理が出来ます。

(左)ボタンでドラッグ・・・当該ページの空フォルダへ全画像が移動されます。

(右)ボタンでドラッグ・・・当該ページの空フォルダとフォルダが交換されます。

空のフォルダは当該ページの最初に空いているフォルダが適用されます。ドラッグしたフォルダ・リストの画像は全て移動されますが、子フォルダ等は移動されません。尚 Grpman での画像の移動では、画像の解説テキストは常に一緒に移動されます。

「空フォルダとの交換」とは当該ページのフォルダが、現在表示中のフォルダ・リストと交換されるだけで、表示上の処理の違いだけで、実際に交換される事は有りません、その時点で「保存」するかフォルダ名変更をしない限り次回起動時には元に戻ります。

(11) テック(拡張)ボタン

このボタンは様々な機能を含んでいます。

起動直後でフォルダ・リストがまだ表示されていない状態のときは、このボタンをクリックすると、フォルダ・リスト自動検索を開始してフォルダ・リストを表示します。

表示されるフォルダが無い時はフォルダ自動作成が出来ます。

(左ボタンを押している間)=現在のフォルダ・リストの階層状態をフォルダ名ラベルの色で表示

(右ボタンクリック)=拡張メニューが表示されます。

ユーザー登録するまでは、登録フォームが表示されます。

未登録の時は[Shift]+(右ボタン)で拡張メニューが表示されます。

[Shift]+(左ボタンを押している間)=現在の各フォルダ・リスト内の画像数が表示されます。

(中ボタン)でも画像数が表示出来ます。

(12) 頁移動ボタン(前頁)

フォルダ・リストの前頁を表示します。

(13) 頁移動ボタン(次頁)

フォルダ・リストの次頁を表示します。

(14) ページ番号表示ラベル

現在表示中の頁番号を表示します。

(左ボタンクリック)=現在表示されている頁のフォルダ・リスト内の格納されている画像の合計枚数を表示します。

(右ボタンクリック)=現在のパス状態の詳細を表示します。

[Shift]+(クリック)=頁解説テキストエディタを起動します。

(15) 足跡ボタン

(左ボタンクリック)=前回起動したパスを Main に変更します。

(右ボタンクリック)=起動設定したパスを Main に変更します。

(16) 終了ボタン

[Shift]+(クリック)=終了します。

[中ボタンクリック]=終了します。

## ボタン類の操作説明

フォルダ・リストを 1 個進める。  
フォルダ・リストを左回りに 1 個進めます。

**先頭** フォルダ・リストを先頭に移動します。  
フォルダ・リストを先頭から表示します。複数頁ない時は意味を成しません。

**最後** フォルダ・リストを最後尾に移動します。  
フォルダ・リストを最後尾から表示します。頁の最後尾とは違い、フォルダ・リストの最後が最後尾に表示されます。(フォルダ数が 22 個の倍数の時は、最終頁と同じです。)  
通常の場合 22 個の倍数フォルダ・リストが無い場合は、端数の後に先頭頁が続いて表示されます。

フォルダ・リストを 1 個戻す。  
フォルダ・リストを右回りに 1 個進めます。

フォルダ・リストの画像表示、前の画像。  
フォルダ・リストの画像を Main 画像枠で表示、前の画像を表示します。  
Main 枠内に、ファイル名リスト一覧が表示されます。  
ファイル名リストをクリックでその画像を表示出来ます。

フォルダ・リストの画像表示、次の画像。  
フォルダ・リストの画像を Main 画像枠で表示、次の画像を表示します。  
Main 枠内に、ファイル名リスト一覧が表示されます。  
右ボタンをクリックすると、ファイル名リスト表示を消す事が出来ます。

フォルダ・リスト画像を表示中は、 の **変更** ボタンは **戻る** に変わりますので、この「戻る」ボタンを押すと、Main 画像は元に戻ります。この時 Main で表示されていた画像にフォルダ・リストの表示画像は変更されます。

(ポイント) ここでフォルダ・リストの表示画像を変更しても次回起動時には戻ってしまいます、次回起動時にフォルダ・リストの画像を希望画像にしたい場合は、その画像の先頭設定をするか、タイトル画像に設定して下さい。

**保存** フォルダ・リストを保存します。  
フォル・リストを保存するというのは、現在のフォルダ・リストの並びと、フォルダ・リストに表示されている画像名を保存することです。後でその状態を復帰させることが出来ます。  
読み出しは(05)リスト変更メニューを使います。

**変更** ・  **追加** ・  **戻る** ・ このボタンは状況により機能が変わります。  
尚、変更と追加は、現在処理過程で追加するだけで、フォルダ自体を移動・変更したり、追加したりするものではありません、次回起動時には元に戻ります、現状を復帰させたい時は、現在の状態を前記の「保存」ボタンで保存して置いて下さい。  
各ボタンを機能別に説明します。

**追加** フォルダ・リストを先頭に移動します。  
通常の状態です、フォルダ・リストにフォルダを 1 個追加します。画像の有るフォルダを参照して追加します。最後尾に追加されます。

**変更** 選択中のフォルダを別のフォルダと変更します。  
フォルダ・リストを選択中は「変更」ボタンとなります。この状態のときは選択中のフォルダを別のフォルダと取り換えます。

**戻る** フォルダ・リストの画像を Main 表示から通常に戻します。

フォルダ・リストの画像を のフォルダ・リスト画像表示中の時に通常の状態に戻します。  
この「戻る」操作は他の様々な処理を実行した時にも戻ってしまいます。どの操作をしたら戻るか解らない時に使って下さい。

**U** 移動やコピー、削除などの操作の繰り返しを戻す

画像を移動したり、コピーや削除をしたりした操作を戻す事が出来ます。 の繰り返し操作で処理した操作は、繰り返した分だけ戻せます。

**繰り返し** 移動やコピー、削除などの操作の繰り返します。

画像を移動したり、コピーや削除をしたりする操作を繰り返し行います。ドラッグドロップする操作をこのボタンで繰り返します。通常 1000 回まで繰り返せます。

尚、Main のフォルダの画像をフォルダ・リストへ移動する場合区分ファイルは 1000 枚まで自動で繰り返す事が出来ます。

[Shift]+クリックで区分ファイル自動繰り返し移動となります。

**ReName** 選択中のフォルダ・リストの画像ファイルを一括リネームします。

フォルダ・リスト内の画像ファイルを一括でリネームします。

通常ファイル名は Grpman が自動で作成しますが、名前を指定して変更する事も出来ます。

一括リネームは『[共通部分]+[番号].jpg』で番号には 01~ファイル数の番号が付きます。番号の付け方は現在のファイル名の並びで付け返られます。尚、現在番号が付いていて 1~25 の様な番号の場合は通常 1、10、11~19、2、20~25、3~9、の並びに読み込まれますが、Grpman のリネームでは、1~25 の順番に 01~25 のように番号が付けられます。

Grpman で使われるリネーム処理は全て解説テキストも一緒に変更されます。

(ポイント)解説テキストはスライドショー等で画像に解説を付けるテキストの事で、このテキストを作っておけばスライドショーで画像の解説が表示出来ます。画像ビューアの「HFview」や、画像データベース「Grpee」で利用出来ます。「Grpee」で簡単に解説テキストを作る事が出来ます。

Grpman で一括リネームしたファイルを「Grpee」を使えば直前 1 回のみ元に戻す事が出来ます。

**ExList** 選択中のフォルダ・リストと Main のフォルダを一時的に交換します。

選択中のフォルダ・リストと Main のフォルダを変更します。Main フォルダからフォルダ・リストへ画像を移動する事は出来ませんが、フォルダ・リストから Main へ画像を移動する事は出来ません、Main へ移動したい場合は、このボタンで Main とフォルダ・リストを入れ換えてから移動します。

フォルダ・リストへ新規フォルダを作成する場合も Main へ移動して作ります。

その他 Main でしか出来ない操作やフォルダ・リストでしか出来ない操作をする場合も入れ換えて処理します。

Main フォルダ・リストの画像表示、次の画像へ移動。

Main フォルダの画像を 1 個次へ進めます。

[Shift]+クリックで区分移動となります。次の区分画像の先頭へ進みます。1 つの区分または、区分画像が無い場合は通常の移動となります。

Main フォルダの画像表示、前の画像へ移動。

Main フォルダの画像を 1 個前へ戻します。

(ポイント)区分ファイルと区分移動。画像ファイルに番号の付いたファイル『[共通部分]+[番号].jpg』の形式のファイルを区分ファイルと云い、共通部が同じで番号のみ違うファイルを区分ファイル群として共通処理出来ます。例えば「chiba01.jpg」~「chiba25.jpg」や「tokyo01.jpg」~「tokyo33.jpg」は同一区分のファイルと見なされます、従って区分移動の時は、「chiba01.jpg」の次に「chiba02.jpg」~「chiba25.jpg」を飛ばして「tokyo01.jpg」に移動します、自動繰り返しでは、「chiba01.jpg」の次に「chiba02.jpg」~「chiba25.jpg」までを順番に繰り返して自動でフォルダ・リストへ移動出来ます。

この区分ファイルを使って様々な自動処理が出来ます。

**ReMode** フォルダ・リスト移動モードの時表示されます。  
フォルダ・リスト移動モードから抜けます。

Mode について

Copy コピーモード

ドラッグドロップ操作で[Main] [フォルダ・リスト]または[フォルダ・リスト] [Main]で画像は移動ではなく、コピーされます。元の画像ファイルは元の位置に残ります。

移動 移動モード

ドラッグドロップ操作で[Main] [フォルダ・リスト]または[フォルダ・リスト] [Main]で画像は移動されます。元の位置に画像は無くなり移動されます。

通常、起動時はこのモードとなります。

全て 一括移動(移動モード時のみ有効)

ここをチェックしておく一括移動モードとなり、フォルダ・リスト間で一括移動が出来ます。

通常、「フォルダ・リスト」間でドラッグドロップして画像を移動する場合には、「フォルダ・リスト」「Main」「フォルダ・リスト」へ2ステップ処理で移動となります。一括移動をチェックしてあれば「フォルダ・リスト」「フォルダ・リストリスト」のドラッグドロップでフォルダ・リスト内の画像は全て移動されます。コピーモードでは使用出来ません。

「Main」の画像を「フォルダ・リスト」へ移動は1ステップです。

一括で移動したファイルも **U** ボタンで戻せます。

(ポイント)フォルダ・リストの順番を変更したり、番号が付いていないフォルダが含まれていたり、新規にフォルダを作って番号が不ぞろいの際には『フォルダの番号付』で番号を付けて置くと、次回起動時に順番にフォルダが並びます。番号が既に付いている状態で(3-4)一括フォルダ作成した場合は正しく番号が付けられます。

## ポップアップメニューの説明

### (1) フォルダ名変更

フォルダ名変更	▶	フォルダ名変更
フォルダリストの追加	▶	一括フォルダ名変更
フォルダの作成	▶	当該頁一括変更
リスト移動モード		フォルダの番号付
ファイル名変更	▶	
ファイルソート		
画像の先頭設定		
区分File移動		
HFview起動		
GmanSort起動		
Grpee起動		
ファイル名一覧		
画像一覧Web		
画像編集	▶	
Main履歴	▶	
Fold履歴	▶	
SubW履歴	▶	
SubWindow		

#### (1-1) フォルダ名変更

現在選択中のフォルダ名を変更します。  
フォルダ名を W クリックと同じ処理となります。

#### (1-2) 一括フォルダ名変更

現在のフォルダ・リスト内全てのフォルダ名を一括で変更します。Grpman のフォルダ名変更規則に従います。

#### (1-3) 当該頁一括変更

現在表示している頁内のフォルダ名を一括で変更します。他の頁が番号付いていない場合にも、該当頁の番号が付きますので、次回起動時には順番が変わります、全て変更する事をお勧めします。

#### (1-4) フォルダの番号付

現在のフォルダ・リストのフォルダ名全てに番号を付けます番号が既に付けられている場合は現在のフォルダ・リストの並びで順番に番号が付けられます。

### (2) フォルダリストの追加

フォルダ名変更	▶	
フォルダリストの追加	▶	子フォルダ全て追加
フォルダの作成	▶	Subフォルダの追加
リスト移動モード		GmanDir内フォルダ
		倉庫Listの追加
		全て折りたたみ
		全フォルダ参照
ファイル名変更	▶	
ファイルソート		
画像の先頭設定		
区分File移動		
HFview起動		
GmanSort起動		
Grpee起動		
ファイル名一覧		
画像一覧Web		
画像編集	▶	
Main履歴	▶	
Fold履歴	▶	
SubW履歴	▶	
SubWindow		

#### (2-1) 子フォルダ全て追加

現在選択中のフォルダに子フォルダがある時、その全ての子フォルダをフォルダ・リストに追加します。孫フォルダも全てのフォルダを検出します。水色・紫色のフォルダ・リストに有効。

#### (2-2) Sub フォルダ全て追加

現在選択中のフォルダに子フォルダがある時、子フォルダをフォルダ・リストに追加します。水色のフォルダ・リストに有効。

#### (2-3) GmanDir 内フォルダ

現在選択中のフォルダに GmanDir フォルダがある時、GmanDir フォルダ内の子フォルダをフォルダ・リストに追加します。紫色のフォルダ・リストに有効。

#### (2-4) 倉庫 List の追加

倉庫フォルダがある時、フォルダ・リストに追加します。

#### (2-5) 全て折りたたみ

現在フォルダ・リストに追加して展開中のフォルダを折りたたんで元に戻します。

#### (2-6) 全フォルダ参照

任意の画像フォルダを参照してフォルダ・リストに追加します。[追加]ボタンと同じ。

### (3) フォルダの作成



- (3-1) 新フォルダの作成  
新しくフォルダを1個作成してフォルダ・リストに追加する。
- (3-2) 端数フォルダの作成  
現在のフォルダ数が22の倍数で無い時に22の倍数に足りない。数の端数分のフォルダを新規に作成する。
- (3-3) 新フォルダの挿入  
新しくフォルダを作成してフォルダ・リストに追加する。  
任意の位置へフォルダ・リストを1頁分(22個)追加します。
- (3-4) 一括フォルダ作成  
新しくフォルダを一括で1頁分(22個)作成してフォルダ・リストに追加する。  
ここで出来るフォルダは既存のフォルダの後に続いて作られます

### (4) リスト移動モード

現在表示しているフォルダ・リストを自由に入れ換えて並びを変える事が出来ます。  
ここで変更した後に、新しい並びにしておく場合は、(1-4)フォルダの番号付けをして新しい並びの番号を付けておいて下さい。

### (5) ファイル名変更



- (5-1) 一括ファイル名変更  
選択中のフォルダ内のファイル名を一括変更する。  
フォルダ内の全てのファイル名が変更されます。
- (5-2) 現在のファイル名変更  
選択中のフォルダの現在表示されているファイル名を変更します。
- (5-3) タイトルファイル名変更  
選択中のフォルダの現在表示されているファイル名をタイトルファイル名に変更します。
- (5-4) ファイル名の小文字変換  
選択中のフォルダの現在表示されているファイル名を小文字変換に変換します。  
この変換ではファイル名の先頭文字のみ大文字となります。

- (5-5) ファイル名の0変換  
ファイル名が番号付きファイル名の時、Samp1.jpg ~ Samp9.jpg などのファイル名を Samp01.jpg ~ Samp09.jpg の形式に変換されます。  
ファイル名の並びが思う順番に並ばない時に利用下さい。

## (6) ファイルソート

選択中のフォルダ・リスト内の画像をファイル名順にソートします。フォルダ・リスト内画像の並びは通常見る事は出来ませんが、フォルダ・リストの画像が先頭の画像になっていない場合や、他のアプリケーションで順番に並ばない場合などに効果的です。この操作をすると、ファイルはファイル名順に並ぶので、呼び出される順番はファイル名順になります。

## (7) 画像の先頭設定

(6)のファイルソートを使うと、フォルダ・リスト内全ての画像の並びがソートされますが、この操作では、現在表示されている画像が強制的に先頭画像となります。起動後フォルダ・リストを表示した時にはこの画像が表示されます。その後移動したり戻したりする操作をすると変更されてしまいます。

## (8) 区分ファイル移動

この項目を選択すると、 のボタンで Main の次の画像を表示する場合に、同じ区分ファイルは飛ばして、違う区分ファイルの先頭を表示します。このモードの時は Main の、リストボックス内の背景の色が変わります。

のボタンで[Shift]キーを押しながら操作するのと同じ状態になります。

## (9) HFview 起動

Main のフォルダ、選択中の場合はフォルダ・リストの画像で「HFview」を起動します。勿論 HFview.exe がインストールされていなければなりません、「GrpMan」を使用する場合は必ず、HFview.exe をインストールして下さい。そうじゃないと使えない機能が出てきます。「HFview」の使い方は添え付けの HFview の説明.txt をお読みください。

## (9) GmanSort 起動

Main のフォルダ、選択中の場合はフォルダ・リストの画像で「GmanSort」を起動します。勿論 GmanSort.exe がインストールされていなければなりません。「GmanSort」を使えば画像ファイル名を好きな順番に簡単に番号が付けられます。「GmanSort」の使い方は添え付けの GmanSort の説明.txt をお読みください。

## (10) Grpee 起動

Main のフォルダ、選択中の場合はフォルダ・リストの画像で「Grpee」を起動します。勿論 Grpee.exe がインストールされていなければなりません。「Grpee」を使えば画像ファイルに簡単に解説を付けられます。解説はスライドショーなどを実行中に表示されます。「Grpee」の使い方は添え付けの Grpee の説明.txt をお読みください。

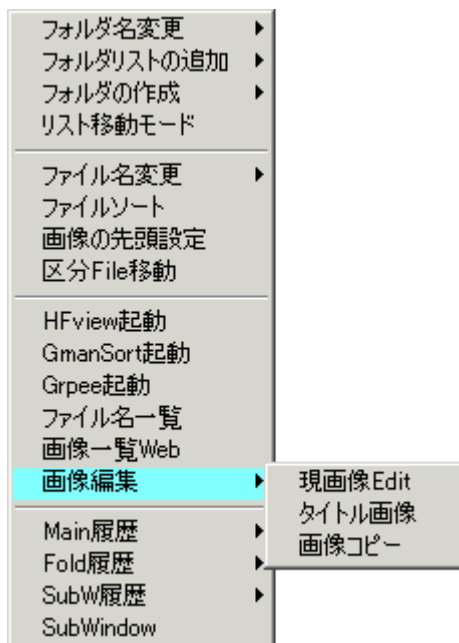
## (11) ファイル名一覧

Main のフォルダ、選択中の場合はフォルダ・リストの画像ファイル名一覧を表示したり印刷したり出来ます。「Dprinter.exe」をインストールしてあれば使えます。

## (12) 画像一覧 Web

Main のフォルダ、選択中の場合はフォルダ・リストの画像ファイル一覧をインターネットエクスプローラで表示します。システムの状況により、余り多い画像を一覧表示すると不安定になります。100 枚以内程度の一覧表示がお勧めでしょうか、勿論システムが強力な場合は 1000 枚でも問題無いと思います。

## (13) 画像編集



### (13-1) 現画像 Edit

選択中のフォルダ内で表示中のファイル名を編集します。  
画像エディタが設定されていなければ使えません。

### (13-2) タイトル画像

選択中のフォルダ内で表示中のファイル名をタイトル画像として編集します。  
現在表示されている画像はそのまま残り、新たにタイトル画像が出来るので、自由に編集出来ます。ファイル名は新しいタイトル画像名が付いて編集されます。

### (13-3) 画像コピー

選択中のフォルダ内で表示中のファイル名をクリップボードにコピーします。他のアプリケーション等に貼り付けて利用出来ます。

(ポイント)タイトル画像はファイル名の番号を取った(括弧)で括られたファイル名となります、タイトル画像に設定したファイルは先頭設定され、最初に呼び出される為、フォルダ・リストを表示した時はタイトル画像が表示されます。

## (14) Main 履歴

フォルダ名変更 ▶	
フォルダリストの追加 ▶	
フォルダの作成 ▶	
リスト移動モード ▶	
ファイル名変更 ▶	
ファイルソート ▶	
画像の先頭設定 ▶	
区分File移動 ▶	
HFview起動	
GmanSort起動	
Grpee起動	
ファイル名一覧	
画像一覧Web	
画像編集 ▶	
Main履歴 ▶	
Fold履歴 ▶	
SubW履歴 ▶	
SubWindow	

(14-1) 起動 Main  
Main フォルダを明示的に変更した時に、起動フォルダに戻ります。  
起動した時のフォルダから変更した時に限ります。

(14-2) Main の履歴  
Main が変更された時の履歴が残っています。任意のフォルダを簡単に Main にすることが出来ます。  
この履歴は次回起動時にも残っています。

(ポイント) 履歴は起動フォルダ毎に違う履歴が残ります、違うフォルダで起動した履歴は表示されません。残る履歴数は最大 22 個迄で、それ以上は古いものから消去されます。

起動Main
c:\GrpSamp\
c:\GrpSamp\GManDir\030\Samp\
c:\GrpSamp\GManDir\005\Samp\
c:\GrpSamp\GManDir\002\Samp\
c:\GrpSamp\GManDir\003\Samp\

## (15) Fold 履歴

フォルダ名変更 ▶	
フォルダリストの追加 ▶	
フォルダの作成 ▶	
リスト移動モード ▶	
ファイル名変更 ▶	
ファイルソート ▶	
画像の先頭設定 ▶	
区分File移動 ▶	
HFview起動	
GmanSort起動	
Grpee起動	
ファイル名一覧	
画像一覧Web	
画像編集 ▶	
Main履歴 ▶	
Fold履歴 ▶	
SubW履歴 ▶	
SubWindow	

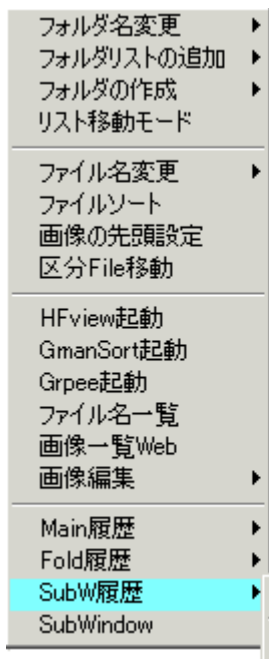
(15-1) 初期 Fold  
最初に表示したフォルダ・リストを表示します。  
Main と無関係にフォルダ・リストのみ変更出来ます。

(15-2) Fold の履歴  
フォルダ・リストが変更された時の履歴が残っています。任意のフォルダを簡単にフォルダ・リストにすることが出来ます。  
この履歴は次回起動時にも残っています。

(ポイント) 履歴は起動フォルダ毎に違う履歴が残ります、違うフォルダで起動した履歴は表示されません。残る履歴数は最大 22 個迄で、それ以上は古いものから消去されます。

初期Folda
c:\GrpSamp\
c:\GrpSamp\GManDir\030\Samp\
c:\GrpSamp\GManDir\005\Samp\
c:\GrpSamp\GManDir\002\Samp\
c:\GrpSamp\GManDir\003\Samp\

## (16) SubW履歴



### (16-1) List 表示

「SubWindow リスト」を表示したり、隠したりします。  
この切り替えで、SubWindow を消去したり、作ったりする物ではありません。

### (16-2) SubWindow の履歴

SubWindow が表示された時の履歴が残っています。任意の SubWindow を簡単に表示する事が出来ます。  
この履歴は次回起動時にも残っています。

(ポイント) 履歴は起動フォルダ毎に違う履歴が残ります、違うフォルダで起動した履歴は表示されません。残る履歴数は最大 22 個迄で、それ以上は古いものから消去されます。

## (16) SubWindow

GrpMan のウインドウと別の子ウインドウリストを作成したり、消去したりします。

「SubWindow」は任意の別のフォルダ・リストで構成されていて、ファイルの移動を多岐に渡って展開出来ます。任意のフォルダ・リストを選択してから「SubWindow」のメニューを選べば、フォルダ・リストの子フォルダ・リストが「SubWindow」に作られます。

## (17) 拡張機能

拡張機能	▶	ファイルの集合
Main_Stack	▶	現在のページの集合
フォルダStack	▶	ファイルの分散
Mainフォルダ変更		FileAllRename
スライドショー		PageRename
ゴミ箱リスト表示		
前頁リスト移動		
次頁リスト移動		
フォルダ順戻す		
ページ説明	▶	
表示サイズ変更		
リスト印刷		
日付表示		
オプション	▶	
終了		

### (17-1) ファイルの集合

選択中のフォルダへ、全フォルダリストの画像を全て集めます。集められたファイルがバラバラに成らない様に、(17-4)でファイル名を全て変更しておく事をお勧めします。

### (17-2) 現在のページの集合

選択中のフォルダへ、現在のページの、フォルダリストの画像を全て集めます。集められたファイルがバラバラに成らない様に、(17-5)で現在のページのファイル名を全て変更しておく事をお勧めします。

### (17-3) ファイルの分散

選択中のフォルダ内の画像を区分ファイル単位で空のフォルダに分散させます。分散を正しく処理させるために、次項目のファイル名変更を使って変更しておく事をお勧めします。

### (17-4) File All Rename

全てのフォルダ・リスト内の画像ファイル名を自動で一括変更します。フォルダ毎に別の名前が付きます。(17-1)や(17-2)を使ってファイルを一箇所に集める場合などファイル名が重複したり、不明ファイル名になったりしないように、この機能を使って全フォルダ・リスト内のファイル名を変更しておく事をお勧めします。

### (17-3) Page Rename

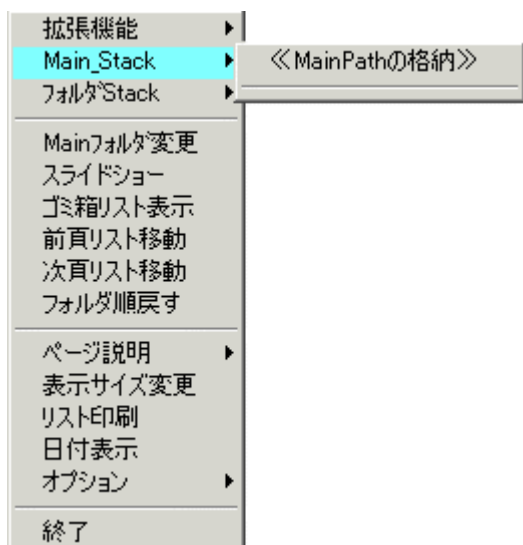
現在の頁内の、全フォルダリスト内の画像ファイル名を自動で一括変更します。(17-4)の処理を頁単位で行います。(17-2)の処理を行う時は是非先にこの処理を実行する事をお勧めします。

(ポイント) 拡張機能のメインの機能が(17)の一連の処理です。この機能を使えば集めた画像を簡単に処理できます。インターネットでお好みの画像を収集する時の例で説明します。

通常インターネットで画像を保存する時にインターネットエクスプローラは「My Picture」に保存するようにフォルダが開かれます。しかし画像を1つのフォルダに保存しようとする、ダウンロードした画像ファイルは同じ名前のファイルが始終出て来て上書きされたり、名前の変更を求められたりと面倒な事が多く、どうしてもフォルダに分割する必要性が出てきます、そうであれば同じ区分のファイル毎に一つのフォルダを割り当てれば解り易く簡単です。最初に空のフォルダを5~60個作っておいて、そこに順番に保存して行けば良いのです。これでダウンロードの際にファイル名が重複する心配も無くなるので、一々その場でファイル名を変更する事も有りません。1つのフォルダに20枚程度の画像を保存していけば1000枚程度の画像も簡単に収集する事が出来ます。この際問題となるのは、その後の事です。フォルダに集めた画像を整理するのですが、ダウンロードの際は無意識的にフォルダに振り分けて保存しているので、整理しなければなりません、とりあえず各フォルダに有る画像のリネームから着手しなければ、同じ名前はゴロゴロしていますし、「3.jpg」等の様に数字だけのファイル名とか「pic12.jpg」や「imag05.jpg」の様に頻繁に出て来る紛らわしい名前が多く到底リネームしなければ一つのフォルダにマトメルことは出来ません。

ここで全てのフォルダ・リストのリネームをすれば、簡単にフォルダ毎に別の名前が付けられますから、その後にはファイルの集合を使いワンタッチでファイルを一つのフォルダに集める事が出来ます。それを「GrpMan」の様々な機能を駆使して分類整理すれば良いのです、この間約15分も有れば整理が付くでしょう、60個のフォルダ・リストに分散している総計1000枚の画像をフォルダ毎にリネームするのに約30秒、一つのフォルダに集めるのに数秒、1000枚の画像をリネームして一つのフォルダに集めるのが1分たらずで出来てしまうのです。

## (18) Main Stack



### (18-1) Main Path の格納

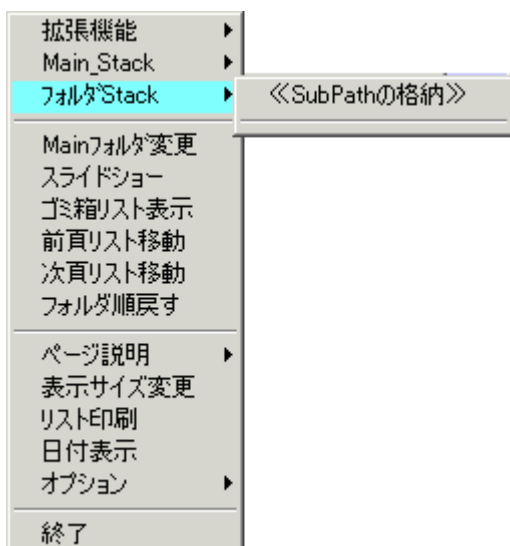
Main フォルダのパスを格納します。ここをクリックすると現在のパスを格納します。使用法は履歴と非常に良く似ています。スタックは格納操作を明示的に行わなければ格納されません。履歴の補助的な使い方をします。

### (18-1) Main Path の読み出し

スタックから読み出す場合は、該当するパスをクリックします、履歴と同じ様に Main フォルダが変更されます。

Main Stack は履歴でカバー出来ないパスや、頻繁に使うパスを格納しておくくと便利です。  
履歴と違い次回起動時には残っていません。

## (19) フォルダ Stack



### (19-1) Sub Path の格納

フォルダ・リストのフォルダのパスを格納します。ここをクリックすると選択しているフォルダ・リストのパスを格納します。使用法は履歴と良く似ていますが、スタックは1個のフォルダのパスを格納します。フォルダ・リストに別のパスのフォルダを追加出来ます。

### (19-1) Sub Path の読み出し

スタックから読み出す場合は、該当するパスをクリックします。当該フォルダが、現在のフォルダ・リストの最後尾に追加されます。フォルダ・リストは変更されません。良く使うフォルダパスを格納して置きます。

Sub Path は履歴と違い次回起動時には初期化されます。

## (20) Main フォルダ変更

Main フォルダを変更します。参照選択して画像の有るフォルダをマイコンピュータから探します。ここで変更した Main フォルダは「GrpMan」が「起動フォルダ」と同じレベルで記憶します。通常フォルダ・リストメニューの「Mainに戻る」とは、このフォルダを指します。(14)ページ番号表示ラベルを右ボタンクリックで表示されるパス情報の Main パスもこのパスになります。  
(注意)Main フォルダと GrpMan が記憶している Main パスは意味が違っているので注意して下さい。使用上で特に問題となる事は有りませんが。

## (21) スライドショー

Main フォルダ又は選択中のフォルダでスライドショーを実行します。但し「HFview」がインストールしてなければ使用出来ません。

## (22) ごみ箱リスト表示

ごみ箱フォルダをフォルダ・リストに最後尾に追加します。又はリストから消します。  
ごみ箱フォルダは通常では表示されません、リストに追加する事で、フォルダ・リストから画像を戻す事が出来ます。「ごみ箱」の画像を「ごみ箱」に入れる事は出来ませんが、単に同じ画像が増えて行くだけで、何の意味も有りません、間違いの元になるのでおやめください。

## (23) 前頁リスト移動

現在表示しているフォルダ・リストの前のページを表示します。  
(12) 頁移動ボタン(前頁)と同じ働きをします。

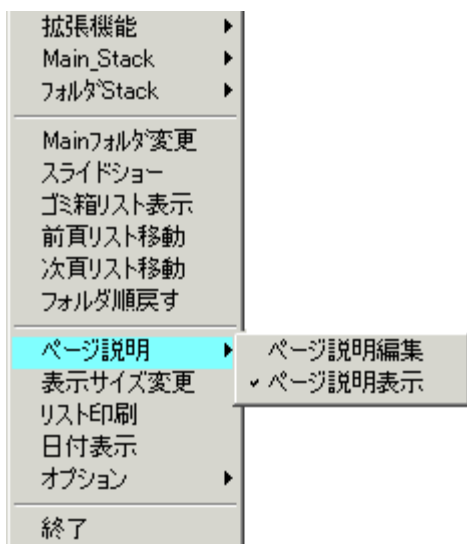
## (24) 次頁リスト移動

現在表示しているフォルダ・リストの次のページを表示します。  
(13) 頁移動ボタン(次頁)と同じ働きをします。

## (25) フォルダ順戻す

フォルダ移動モードを使ってフォルダ・リストの並びを変えた時に元の並びに戻す時に使います。  
フォルダの番号付けやフォルダ名の変更をした場合には、その前の状態には戻りません。

## (26) ページ説明



### (26-1) ページ説明編集

頁ボタンに、その頁の説明を付けて、頁ボタンにマウスを移動した時に説明をポップアップで表示するように出来ます。その時の頁に対する説明を作成したり編集したり出来るエディタを起動します。

### (26-2) ページ説明表示

頁の内容説明を表示するか否かを設定します。  
通常は表示するとなっています、表示させたくない時には、ここのチェックをはずすと表示しなくなります。

ページの説明はフォルダ毎に作る事が出来ます。

## (27) 表示サイズ変更

GrpMan は 1024x768 のサイズ用に作られました、その為に 800x640 の画面サイズでは起動は出来るが操作は出来ませんでした。しかし、その後のバージョンアップでサイズの変更が出来る様になり 800x640 の画面サイズでも使用出来る様になりました。通常では起動時に任意のサイズに設定されますが、1024x768 のサイズ以上の画面を使用する方は 800x640 対応のサイズで処理出来る様になります。

## (28) リスト印刷

フォルダ・リストの画像をフォルダ単位で画像をサムネイル形式で印刷します。24 フォルダ以上を正しく印刷する為には 1280x1024 以上の画面設定で処理する必要があります。このサイズの画面で印刷すれば、全てのフォルダ・リストを印刷できます。

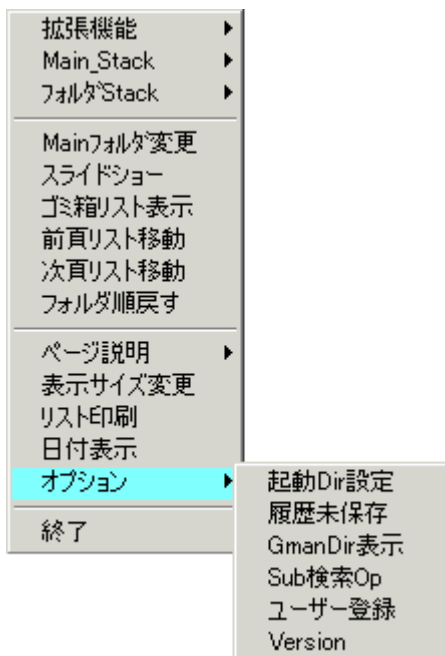
フォルダ・リストに表示される画像が印刷されます。

この機能は簡易機能なので、あまり決めの細かい設定は出来ません、今後のバージョンアップに期待してください。(当然プリンタの設定は付いていません、手動でプリンタのプロパティを調整して下さい。)

## (29) 日付表示

ここをチェックすると Main 画像の作成日付、が表示されます。  
全画面では表示されません。

## (30) オプション



### (30-1) 起動Dir 設定

画像を設定しないで起動した時に最初に開くフォルダを設定します。ここをクリックすると、現在の Main フォルダが設定されます。

### (30-2) 履歴の未保存

ここをチェックすると履歴を保存しなくなります、当然前回の履歴も表示しません、毎回履歴は初期化されます。

### (30-3) GmanDir 表示

GmanDir を通常のフォルダと同じフォルダとして取り扱いますが、但し子フォルダの検知の場合などの事です。

### (30-4) Sub 検索 Op

SubWindow で表示する子フォルダ・リストを全てのフォルダ迄、掘り下げで検索します。通常は 1 階層のみの表示です。

### (30-5) ユーザー登録

ユーザー登録を行います。(試用期間を過ぎると登録が必要)

## (30-1) Version

GrpMan のバージョン情報と登録情報を表示します。

## (23) 終了

終了、終わらせます。

